

**製品名: リンゴ酸酵素 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13605**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	64kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ME1
別名	ME1; NADP-dependent malic enzyme; NADP-ME; Malic enzyme 1
遺伝子 ID	4199.0
SwissProt ID	P48163
免疫原	抗血清はヒト ME1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 468-517

**背景**

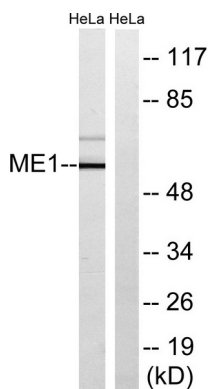
この遺伝子は、脂肪酸合成に必要な NADPH を生成する細胞質 NADP 依存性酵素をコードしています。この酵素の活性は、リンゴ酸の可逆的な酸化脱炭酸であり、解糖系とクエン酸回路を結び付けています。この遺伝子の発現制御は複雑です。甲状腺ホルモン

値の上昇や食事の炭水化物の割合の増加によって、発現が増加する可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: (S)-リンゴ酸 + NADP(+) = ピルビン酸 + CO(2) + NADPH.,補因子: 二価金属陽イオン。マグネシウムまたはマンガンを優先します。.,オンライン情報: シンガポールヒト変異・多型データベース,類似性: リンゴ酸酵素ファミリーに属する。.,サブユニット: ホモ四量体。.,組織特異性: 肝臓、胎盤、白色脂肪組織を含む、試験したすべての組織で発現。.,

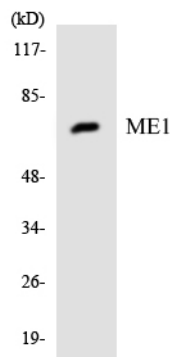
## 研究分野

ピルビン酸代謝;PPAR;

## 画像データ



ME1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



ME1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。